

Ⅳ. 補正カテゴリを活用しよう

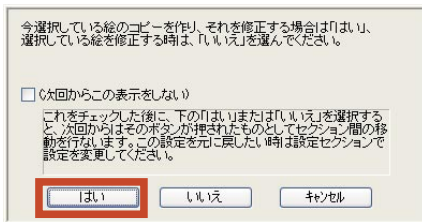
ここでは、「デジコラージュ 10」の補正カテゴリで操作できる画像の色補正を中心に操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

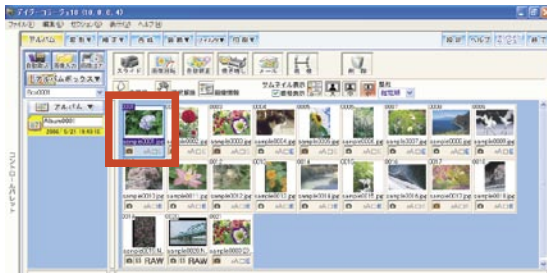
「デジコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



1. 画像全体を自動で補正する

① アルバムサムネイル一覧から、色補正を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。



② [補正] ボタンをクリックして下さい。

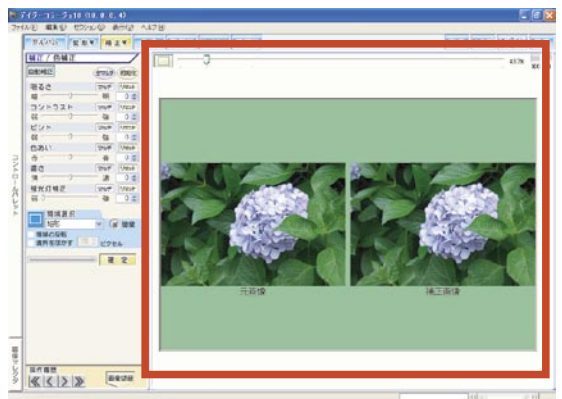


③ 「セクション選択」画面が表示されます。
[色補正] をクリックして下さい。



④ 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるよう、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。



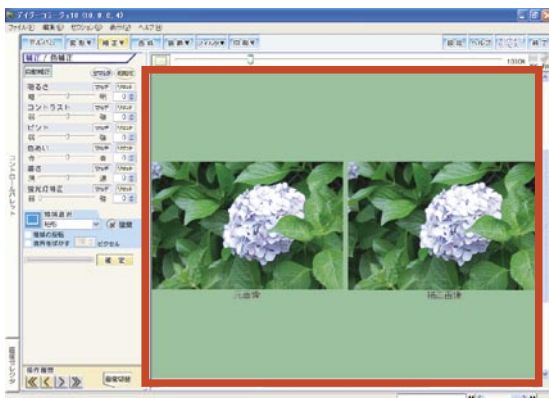
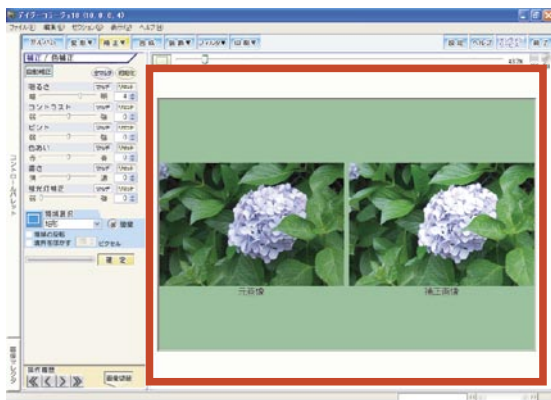
24 補正カテゴリを活用しよう

- ⑤ [自動補正] ボタンをクリックして
下さい。

自動補正

- ⑥ 「補正画像」に、自動補正を実行した状態が
反映されます。

設定した補正内容が確定すると、「元画像」に
その内容が反映され、「元画像」と「補正画像」
は同じ状態になります。



■自動補正機能について

「デージーコラージュ 10」には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正值を算出して、算出した補正值に補正を実行する「IR(Image Recognition)補正」機能が実装されています。

[自動補正] ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

- ⑦ [確定] ボタンをクリックすると、自動補正を実行
します。

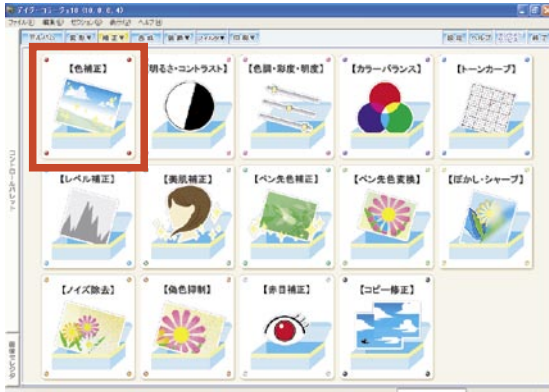
確定

2. 補正パターンを選んで補正する

①アルバムサムネイル一覧から色補正を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正]ボタンをクリックして下さい。

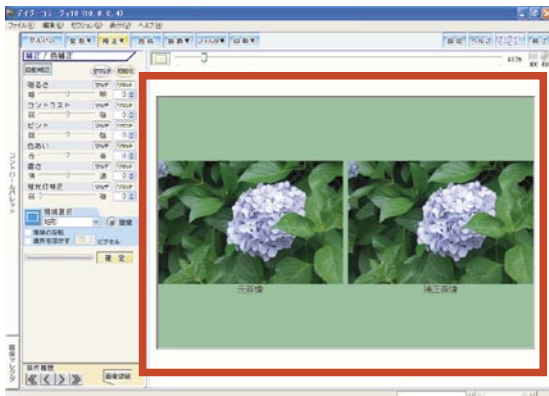


②「セクション選択」画面が表示されます。
[色補正]をクリックして下さい。



③画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。



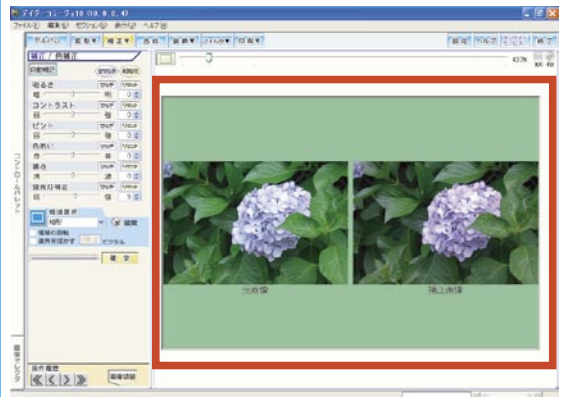
④[全マルチ]ボタンをクリックして下さい。



⑤「マルチ選択」ウインドウが表示されます。
補正するパターンの画像ボタンを選択して、[OK]ボタンをクリックして下さい。



⑥「補正画像」に、選択された補正パターンを実行した状態が反映されます。

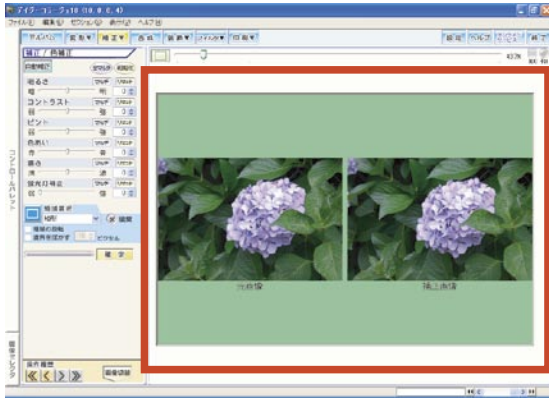


26 補正カテゴリを活用しよう

⑦ [確定] ボタンをクリックすると、補正を実行します。



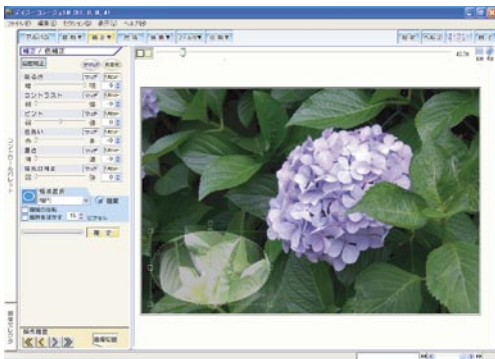
設定した補正内容が確定すると、「元画像」にその内容が反映され、「元画像」と「補正画像」は同じ状態になります。



■領域選択を使った補正

画像上で領域選択をしてから補正を実行すると、選択した範囲のみへ補正を行うことも出来ます。

※領域選択を操作する場合には、「1枚モード」へ変更してから、操作を行ってください。



3. ホワイトバランスを調整する

■ホワイトバランスとは・・・

撮影条件によっては、写真が黄色掛かったり、青み掛かったりすることがあります。

このような写真で、実際に白かった部分を白くするように、色のバランスを調整する操作です。

①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。



②「セクション選択」画面が表示されます。[トーンカーブ] をクリックして下さい。



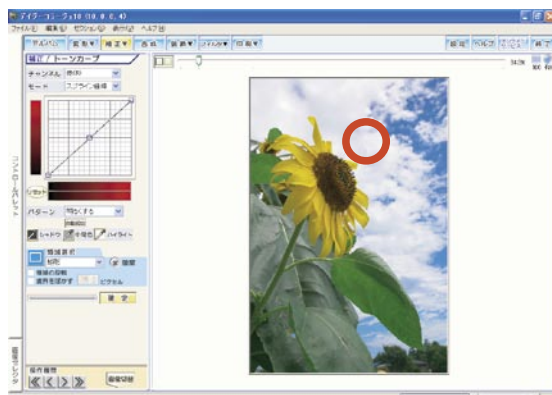
③トーンカーブ セクションへ移動します。トーンカーブ セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。

今回は、[色指定] ボタンを使った操作を行います。

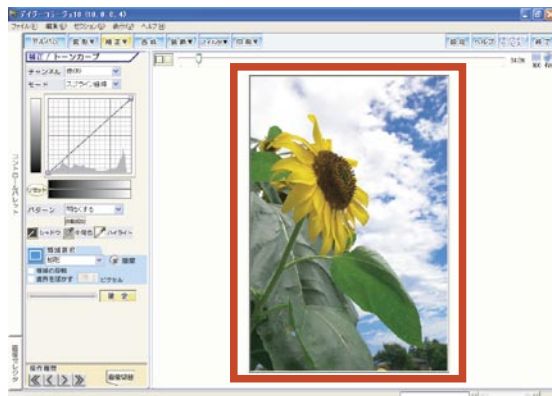
[1枚モード] ボタンをクリックして下さい。



④ [ハイライト] ボタンをクリックしてから、キャンバス上の画像上で、白くしたい部分をクリックして下さい。



⑤ [確定] ボタンをクリックすると、補正内容を確定します。

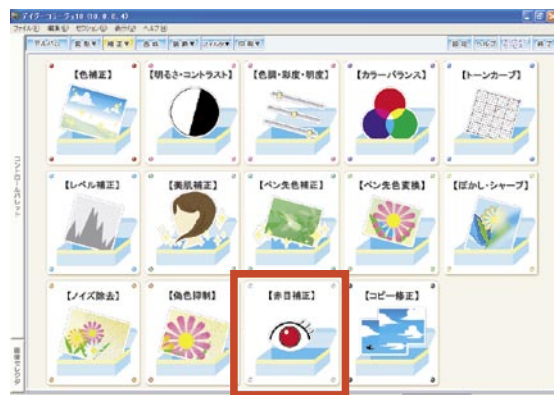


4. 赤目を補正する

① アルバムサムネイル一覧から赤目補正を行うサムネイル (画像) を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。

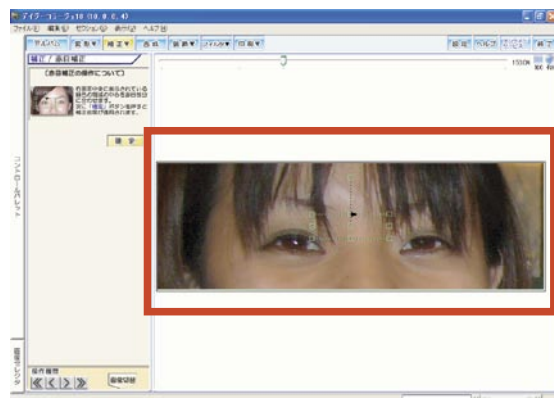
補正▼

② 「セクション選択」画面が表示されます。
[赤目補正] をクリックして下さい。



③ 赤目補正セクションへ移動します。

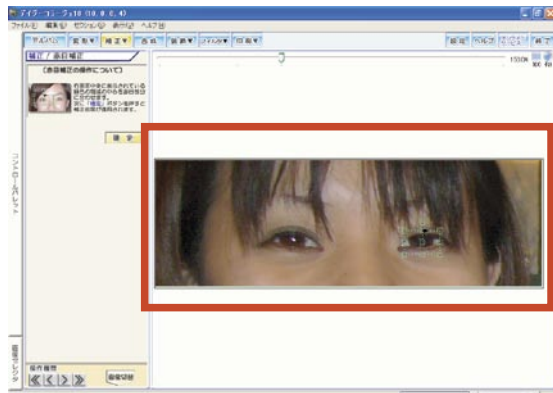
赤目補正セクションへ移動した直後は、キャンバスの画像の中央に領域選択枠が表示されます。



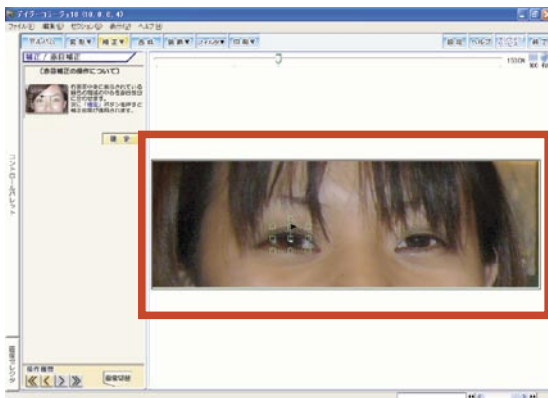
28 補正カテゴリを活用しよう

④領域選択枠が目全体を囲むように位置と大きさをドラッグで調整して下さい。

またこの際に領域選択枠の中心の四角が片方の目の中心に位置するようにして下さい。



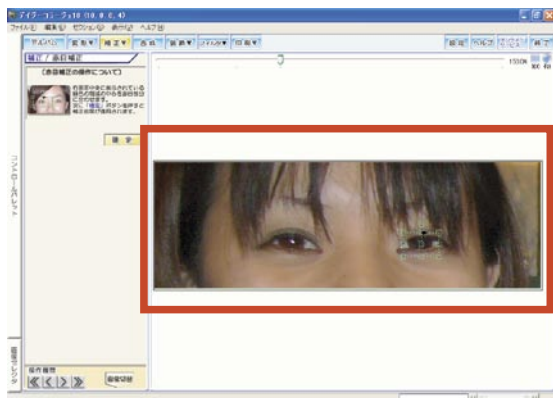
⑥同様にもう片方の目の補正を実行して下さい。



⑤領域選択枠の位置と大きさが調整されると、補正が反映されます。

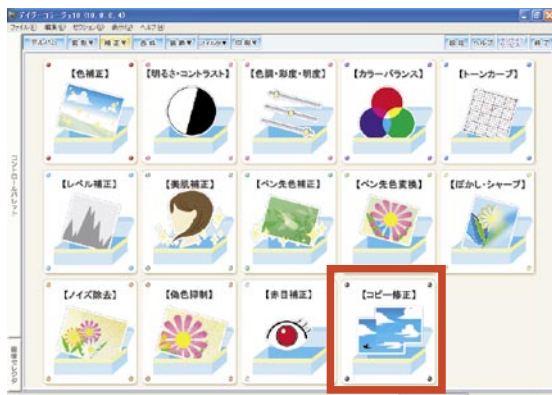


[確定] ボタンをクリックして、補正を確定して下さい。

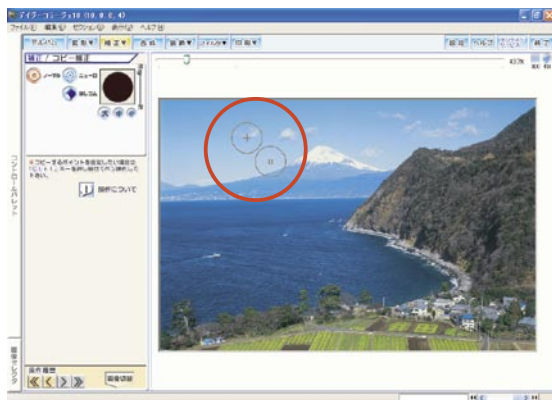


5. 不要な部分を消去する

- ①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。
- ②「セクション選択」画面が表示されます。
[コピー修正] をクリックして下さい。



- ③コピー修正セクションへ移動します。
キャンバス上にマウスポインタを合わせると、2つの円が表示されます。



■それぞれの円の役割

A. コピー元

円の中心が「+」になっている円の範囲をプログラムが読み取ります。

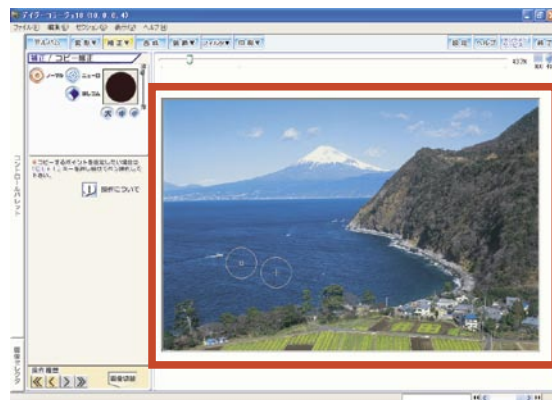


B. コピー先

円の中心が四角になっている円の範囲へ、コピー元から読み取った部分をペンでなぞるように描画します。

- ④キーボードの [CTRL] キーを押さえると、[CTRL] キーを押さえている間、A がその場所に静止します。

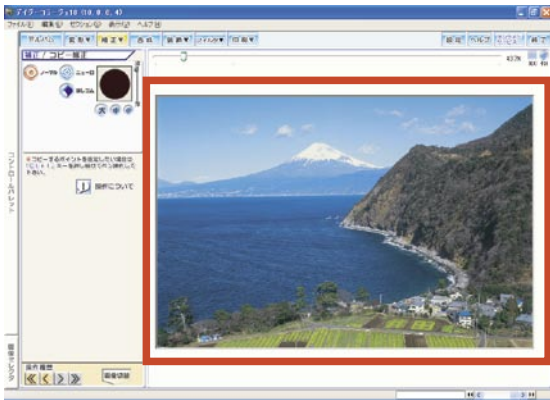
修正を行う方向に合わせて、A を静止させた状態でドラッグを行い、B の位置を調整して下さい。



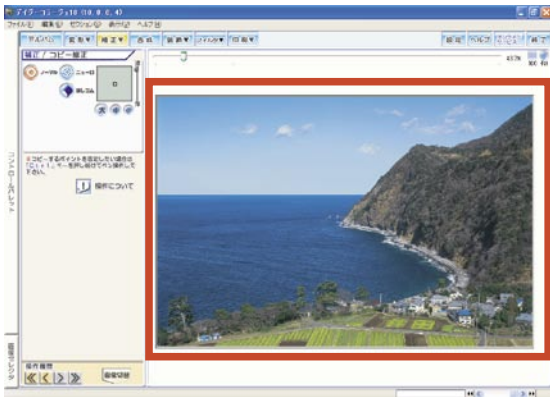
30 補正カテゴリを活用しよう

⑤コピー修正を実行します。

[CTRL] キーから指を離して、消去したい部分をドラッグして下さい。



⑥操作後に、アルバムセクションなど、他のセクションに移動すると、画像が自動保存されます。

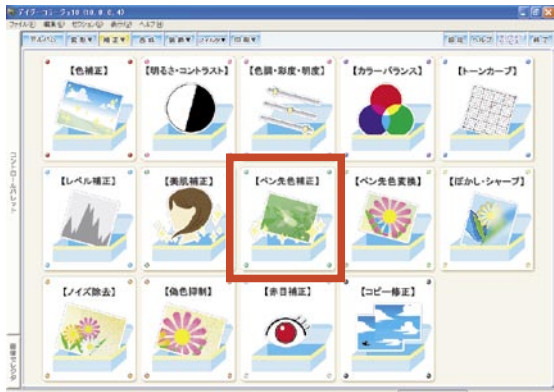


6. 複雑な範囲を補正する

①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。

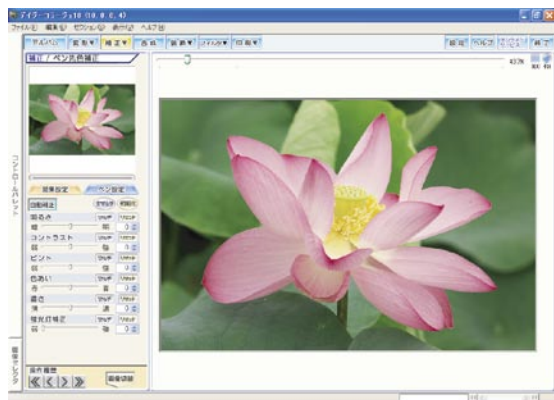


②「セクション選択」画面が表示されます。
[ペン先色補正] をクリックして下さい。

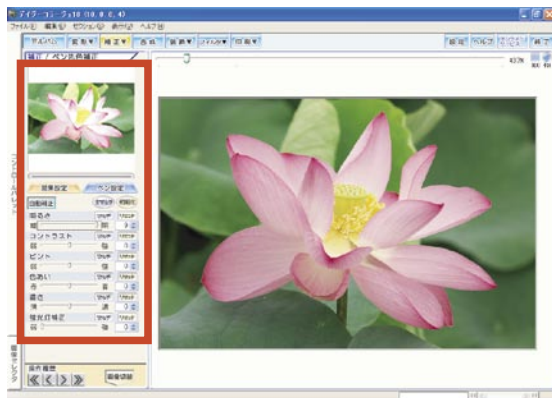


③ペン先色補正セクションへ移動します。

ペン先色補正セクションに移動した直後には、まず補正する状態を設定するための「効果設定」画面が表示されます。



④画面左手のコントロールパレット上部のプレビューを確認しながら、各パラメータを調整して下さい。



⑤次に効果を反映させます。

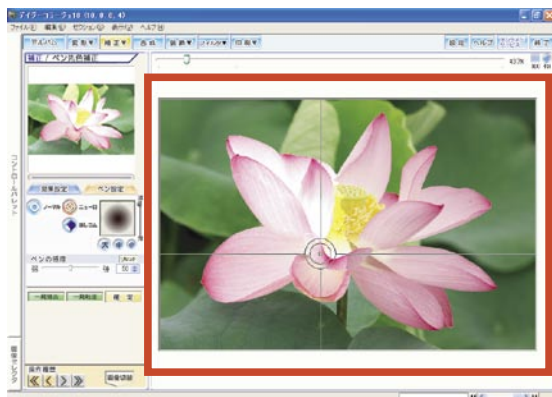


[ペン設定] ボタンをクリックして、「ペン設定」画面に切り替えて下さい。

⑥今回は、花の部分のみ補正を行います。



ペンの種類に「ニューロ」が設定されていることを確認してから、花の部分をドラッグして下さい。



■ニューロ機能について

ペン先となる円が配置された範囲をプログラムが認識し、その範囲だけに効果を反映させる機能です。

操作の際には、その範囲を判別しながら動作しますので、ややゆっくりとドラッグして下さい。

⑦ [確定] ボタンをクリックすると、補正内容を確定します。

